

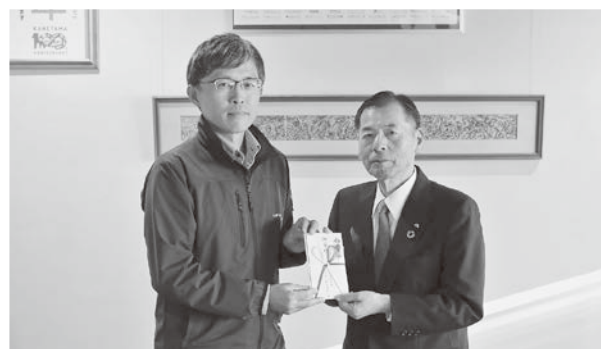
金山100年の想いをのせ 金中生が「りゅう」を全校合唱



▲全校生徒で合唱した100周年記念楽曲「りゅう」

10月25日、金山中学校で合唱祭が開催され、あわせて町制施行100周年記念スピンオフ映像の撮影が行われました。今年度は「りゅう～100年先の金山へ～」を合唱祭のスローガンに掲げ、学年ごとの合唱発表のほか、100周年記念楽曲「りゅう」の全校合唱が行われました。合唱曲「りゅう」に金山町がこれまで歩んだ歴史と、これからの金山町の未来への想いをのせ、会場いっぱいに歌声を響かせました。

平成4年度金山中学校卒業生 金山町へ5万円を寄付



▲矢口淳さん(左)、佐藤英司町長(右)

10月17日、平成4年度金山中学校卒業の同期会の皆様より、町へ5万円の寄付をいただきました。同級会を代表し矢口淳(鮭川村)さんが来庁し佐藤英司町長に寄付金を手渡ししました。寄付金はまちづくり全般に大切に活用させていただきます。平成4年度金山中学校卒業生の皆さん、誠にありがとうございました。

モンテディオ山形市町村応援デー 城和隼颯選手が来町



▲安部崇士選手(左)と相田健太郎代表取締役社長(右)

10月15日、町アンバサダーの城和隼颯選手が地域貢献活動の一環で来町し、岸家具店で金山杉のキーホルダー製作を体験したほか、NHK「やままる」の取材に応じ、金山町のPRを行っていただきました。さらに、10月19日の「金山町 市町村応援デー」にあたるロアッソ熊本戦では、試合開始前に佐藤英司町長がマグネット募金と、金山産のビーナッツ菓子などを贈呈し、選手を激励しました。今後の更なる活躍を期待しています。

金山中 佐藤嘉乃さんの提案が商品化 ビーナッツタルト深田菓子舗で発売中



▲佐藤嘉乃さん(右)と深田裕介さん(左)

金山中学校の総合的な学習の時間「金山学」において、3年生の佐藤嘉乃さん(板橋)が開発した「ビーナッツタルト」が商品化され、10月から深田菓子舗(新庄市)で販売されています。タルトは金山産の落花生をふんだんに使用したビーナッツクリームに、ピスタチオのムースとローストアーモンドを組み合わせた一品です。佐藤さんは、「試作を重ねてきたので、商品化出来てとても嬉しい。多くの協力とサポートに感謝したい」と想いを述べました。

みんなで祝う健康・長寿 羽場地区 長寿を祝う会



▲披露された舞踊を楽しむ皆さん

10月26日、羽場地区で第21回長寿を祝う会が開催され、22名が参加しました。アトラクションでは栗田満さんによる舞踊が披露され、真室川音頭とドンパン節を全員で合唱しました。また、ボランティアグループのスタッフによる「旬のモノ食べ方紹介コーナー」など盛りだくさんな内容となりました。昼食には弁当や芋の子汁、果物、地区で育てた野菜の漬物が女性の会から振る舞われ、会場からは「んめなぁ」と喜びの声が上がりました。

6年ぶりの復活 とこみどり少年野球大会



▲金山スポーツ少年団野球部の部員たち

10月18日、金山スポーツ少年団野球部が主催する「とこみどり少年野球大会」が開催され、4チームが白熱した試合を繰り広げました。本大会は、部員数の減少や感染症の影響により令和元年の開催を最後に中断していましたが、多くの支援により、6年ぶりの開催が決められました。栗田一直大会名誉顧問は、「過去の出場選手の中にはプロになった人もいます。この大会を経験した子ども達が様々な分野で活躍してほしい」と語りました。

平成11年度金山中学校卒業生 金山町へ5万円を寄付



▲佐藤美華さん(左)、佐藤英司町長(右)

10月17日、平成11年度金山中学校卒業の同期会の皆様より、町へ5万円の寄付をいただきました。同級会を代表し佐藤美華さん(板橋)が来庁し佐藤英司町長に寄付金を手渡ししました。寄付金はまちづくり全般に大切に活用させていただきます。平成11年度金山中学校卒業生の皆さん、誠にありがとうございました。

新庄・最上ジモト大学開催 17名の高校生が地域を知り学ぶ



▲ジモト大学に参加した高校生の皆さん

10月12日、グリーンバレー神室で「新庄・最上ジモト大学」金山プログラムが開催され、新庄南高校金山校の生徒をはじめ、町内外の高校生17名が参加しました。参加した高校生は金山中学校の生徒と協力し、産業まつりの会場を回って募金活動等に取り組みました。意見交換会では、「多くの方に声をかけていただき、町民の温かさを感じた」「産業まつりは素晴らしいイベントなので、PRを工夫すれば、より多くの人が集まりそうだ」など、様々な意見が出されました。

困っている人の力になりたい 中学生と高校生が社協へ寄付



▲左から柴田茉乃さん、近岡愛心さん、仲野想良さん、金山町社会福祉協議会 武内俊雄事務局長

11月11日、新庄南金山校2年仲野想良さん(新庄市)と金山中学校3年柴田茉乃さん(稲沢)、2年近岡愛心さん(朴山)が社会福祉協議会に30,180円を寄付しました。この寄付金は、10月12日に開催された産業まつりで、高校生6名と中学生12名が募金活動によって集めたものです。「被災地の復興や、困っている方の力になりたい」という生徒の思いから、寄付金は被災地への義援金として活用されます。

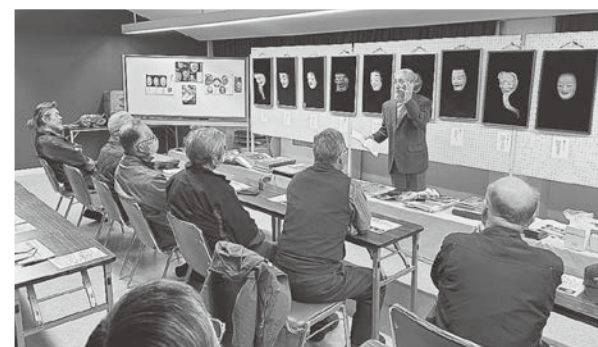
歌声で元気を届けたい 金山診療所ホスピタルライブ



▲ライブではCDやTシャツなどの物販も行われた

11月5日、町立金山診療所で「ホスピタルライブ」が開催されました。全国の病院や福祉施設などで年間300回以上の公演をおこなっているシンガーソングライターの松尾貴臣さんをお招きし8曲が披露されました。金山診療所では6年ぶりの開催となりましたが30名を超える町民の皆さんが集まり、心温まる爽やかな歌声に会場には手拍子や掛け声が響きわたりました。

押切民夫さん制作 能面15点・狂言面5点を展示



▲展示された能面の前で講話を行う押切民夫さん

11月3日から5日まで中央公民館を会場に、能面作品展示を開催し、町内外から延べ220名を超える来場者がありました。最終日の講話では、制作者の押切民夫さん(七日町)から制作過程を交えながら能面の魅力についてお話しがあり、参加者からは「こんなにたくさんの作品を作っていたことに驚いた。能面に対する熱意が伝わってきた」との声が寄せられ、大盛況のうちに幕を閉じました。

若手職員が6つの事業を提案 職員プロジェクトチーム



▲事業提案を行った役場若手職員7名

10月29日、役場町民ホールで職員プロジェクトチームによる事業提案報告会が開催されました。このプロジェクトは、町の大きな課題である「人口減少カーブの緩和」をテーマに掲げ、調査・研究・事業提案を行うもので、議論を進めた結果、空き家活用、定住対策、子育て支援策など6つの事業提案がされました。また、6つの提案の他に3年間取り組んで成果を上げた「健康づくり推進プロジェクト」の報告がありました。

皆で楽しく健康づくり 健康長寿の集い



▲健康長寿の集いには42名が参加

11月11日、金山町社会福祉協議会主催の「健康長寿の集い」が町農村環境改善センターで開催され、民生児童委員16名、参加者42名が出席しました。集いでは町長との意見交換会が行われたほか、アトラクションとして芸術文化協会「流扇会」「令和の会」による舞の披露や頭の体操、参加者による「楽ハビ体操」、カラオケなどが行われ、終始和やかな雰囲気のもと楽しい時間を過ごしました。

戸沢政盛公を描いた絵本62冊 新庄信用金庫が町へ寄贈



▲鈴木英樹教育長(左)、大澤英一郎常務理事(右)

11月10日、新庄信用金庫の大澤英一郎常務理事と有路秀悦部長が来庁し、戸沢政盛公を描いた絵本「新庄のお殿様 戸沢政盛公」62冊を町に寄贈いただきました。この絵本は新庄藩の礎を築いた初代藩主 戸沢政盛公の生涯を描いた作品で、「歴史を知り、郷土への思いを強めてほしい」との考えから町へ寄贈されたもので、絵本は金山小学校の1・2年生に配布されます。

町にカーブミラー4基を寄贈 JA金山並びにJA共済連山形



▲岸新也理事長(左)、佐藤英司町長(右)

11月4日、金山農業協同組合の岸新也理事長と、全国共済連山形本部事業推進部の佐藤真司最上地区担当部長が来庁され、町にカーブミラー4基をご寄贈いただきました。この寄贈は交通事故対策事業の一環として、平成7年から毎年継続して実施いただいているもので、町内各所に設置し、交通安全の確保と事故防止に大きく寄与しています。長年にわたるご厚意に、心より感謝いたします。

岸旺輔さん山田海司さん 俳句・短歌で若き才能を発揮



▲岸旺輔さん(左)、山田海司さん(右)

11月2日、尾花沢市のサルナートで第36回山形県少年少女俳句大会の表彰式が開催され、金山中学校3年山田海司さん(七日町)の作品「投げられて道着の形に汗の跡」が奥山まや先生特選に選ばれました。また、第9回U-39やましん紙上歌会では、金山中学校2年岸旺輔さん(田茂沢)の作品「溪流に足を踏み入れフィッシング イワナ釣れればうまい塩焼き」が中学生の部最優秀に選出されました。誠におめでとうございます。